

## 4月定例会報告

4月23日(土)午後1時30分～5時

会場：立川・NHK会議室 出席者 18名

2011年度最初の4月定例会はNHKから海老澤・森の2氏が出席され、会員16名との18名で行われました。司会は渡辺代表幹事が務めました。



なお、この日に新入会員として荒木勉さん(久喜市)が入会され、自己紹介をして頂きました。

### 1. 「会報100号記念特別号」の発行について

『多摩アマビ会報』が来年1月で第100号となるのを記念して特別号を別建てで発行したいとの幹事会の案が渡辺代表から説明され、会員に対し原稿の寄稿が要請されました。

### 2. 放映ビデオの上映と検証

この1ヶ月間は震災と原発事故のため、「みんなのビデオ」は1回も放映がありませんでした。

代わりに「計画停電」を話題として岩沢さんが得意のアイデアと器用さを発揮した作品が早朝「お早う日本」のニュースで紹介されました。

岩沢 初男さん 4月8日放送 「計画停電はソーラー



で」計画停電に備え、庭園用ソーラーライトを改良して夕食の照明として使いました。

### 3. 自主作品の発表と海老澤・森 講評

石原 恙逸さん「春風に誘われて」6分00秒(HDV)



デジカメムービー第2弾で、色々な条件で撮影した実験映像の実用化への可能性を探るものです。評：コンパクトデジカメでも倍率10倍、色も綺麗で、ビデオにも使えそう。撮れる時間に制限があると問題だが、用途に限りがあることを承知で使うことだろう。

渡辺 實さん「映像フェス入賞発表会」3分07秒



鎌倉映像フェスティバルに入选し、大林監督から作品に対する講評を得た記録です。

評：大林さんのしゃべりが上手く、ほのぼのとした感じがよく表れていた。監督の語りはもう少し長いセンテンスで聞かせたい。

加藤 守さん「八菅山例大祭 火渡り祭」6分02秒



(HDV) 神奈川県愛川町のこの神社での無病息災を祈念する神事だが、東日本大震災で今年は中止となった

ので去年・一昨年撮影分で纏めた。評：祭の記録として見応えがあった。絵の繋ぎ方が良く、編集テクニク的に上手い。ラストは火渡りで切った方が良かった。

菅原 正三さん「美しい楽園」6分15秒(HDV)



SONYの交換レンズのデジカメ NEX-5D で昭和公園を撮影して見ました。操作が不慣れな試写作品です。

評：色鮮やかで落ち着いたデジタル一眼の作品だ。映像と曲のイメージが良く合っていた。1カットが短いことと、スーパーが読みにくい難点があった。

大熊 昇さん「世界ラン展2011」8分55秒(HDV)



毎年東京ドームで行われるラン展を手持ちで(三脚不可)撮影した作品です。10分以内に収めるのに苦労し

ました。評：大変な人出で撮りにくかっただろう。最初に「大賞」を見せてしまうと終り頃には印象が薄れるので、前半には普通の物を見せておいて最後に大賞をボンと見せた方が締りが良かった。

黒沢 真さん「山形 湯(ゆ)ったり」8分35秒



(HDV) 山形の温泉を4ヶ所巡る2泊3日の旅の記録です。最後は蔵王で樹氷を

楽しみました。評：「湯ったり」で温泉のシーンを見せてくれるかと思ったが移動のシーンばかりだった。テーマを立てたら、何をメインの映像とするか、考えるべきだ。

岩沢 初男さん「計画停電はソーラーライトで夕食」



9分20秒 震災の停電で懐中電灯、ロウソクなど品切れ、そこで庭用のソーラーライトに古い三脚で

足を付けた卓上用ライトを作り、停電時に夕食を取った。評：屋間の交差点信号が消えているのも撮ってありキチンとした記録だ。良く思い付くし、計画的に凝って作るので感心している。

荒木 勉さん「ふるさと祭り 東京」4分（新入会員）



2011年1月に東京ドームで行われたもので、全国の食や祭りが集まった。

評：撮影位置を移動できない状況で、ズームを利かせたり良く撮っている。カットの切り目でボンと大音にならないよう、頭の3フレームで正常の大きさになるよう調整すると良い。

古谷 毅さん「花の吉野山」9分17秒



桜の名所、吉野山は歴史的にも有名です。満開の桜を狙って奥の千本から中の千本まで撮りました。

評：風景などの自然の物よりもっと見たいということもあり、長めのカットが良い。前半はBGMが合わなかった。

加々美 俊明さん「数寄屋づくりの猪股邸」8分04秒



小田急線成城学園前駅近くにある猪股氏が作った家です。世田谷区に寄贈されて現在一般公開されています。

私はここでボランティア解説をしています。評：冒頭に、この邸がどういう所にあるかが分かるように街並みを見せると良かった。ナレーションが早口で多過ぎる感あり、文言を精査して短縮したい。カットが短めで、もう少し長めにしたい。

菅原 富雄さん「じょいそーらんパレード」3分20秒

評： 今年の八王子いちよう祭りの時にチーム撮影



したビデオ。見事に黄葉した いちよう並木の下でダイナミックに踊る様子を編集した。評：踊りと音楽の同調は難しい問題だ。決めた音楽をずっと流し、それに踊りの映像をハメこんでいくのが良い。

“いちよう並木”と言っているのが最初でその映像が欲しかった。

全体に対する総評：「編集を終えたら その晩は寝て、翌日に改めて見直すと不備が分かる。“一歩”でなくても“半歩”下がって見直すことが大切だ。」

4. 交流クラブの会報類を回覧

札幌支部報3、4月号、金沢Vcc通信3、4月号、SAVCS通信3月号、NHK事務局通信No.79、80号を回覧しました。

6月例会のお知らせ

6月25日(土) 午後1時30分～ 5時

自主作品の発表が主体の例会です。撮影会の時期・場所を決めたいので、案を出してください。

みんなの広場



「地域から映像発信」

伊藤 幸晴

私の住む横浜市港北区に「港北ふるさとテレビ局」を開局してから、はや三年目になりました。これまでに撮影したテープは数百本。インターネット上に「港北映像アーカイブス」も立ち上げました。今、地域からの映像発信が注目されています。これまでテレビは大手テレビ局からの片方向の放送が主流でした。しかしビデオカメラの高性能化やインターネットでの発信で、誰にでも映像発信が行なうことができるようになりました。視聴者参加型の双方向の通信が実現しつつあるのです。ただ、誰もが簡単に出来るからと言って、未熟な映像を垂れ流して良いという訳ではありません。私はこれからもNHKクラブで腕を磨き、放送に耐えうる映像を制作して行きたいと思っています。今後ともご指導をお願いいたします。